



第 15 号

輝け、大越っ子

《かしこく・やさしく・たくましく》

福島県田村市立大越小学校

発行日 平成 30 年 10 月 5 日

発行責任者 校長 根内 喜代重

命を守る勉強です！

〈避難訓練〉

9 月 8 日（土）、家庭科室からの出火想定のもと、「避難経路の確認」を重点として実施しました。前は、大越体育館への避難を想定し、プール前駐車場へ避難しましたが、今回は新校庭鉄棒前に避難し、フェンスの非常用扉から取り付け道路に出る訓練を行いました。「ここから出られるんだ。」と驚きの表情を見せる児童もあり、実際にやってみる事の大切さを再認識しました。消防署員のみなさんからは、訓練の大切さとともに、火災を出さない心がけについてもご指導いただきました。



〈交通安全教室〉

9 月 21 日（金）、大越駐在所の永沼様を講師にお招きし、自転車の安全な乗り方や点検のしかたについて学習しました。特に、自転車は「不安定であること」や「自動車のように体を守る外枠がないこと」が重傷事故につながることを、また、「ヘルメットは、頭に合った大きさのものをを選び、万一の時に落ちないようにしっかりかぶること」などをご指導いただきました。交通事故は、いつでもだれにでも起こる可能性があります。ご家庭でも毎朝の一声など注意喚起をよろしくお願いします。



～交通安全運動期間の街頭指導、ありがとうございました～



毎日お世話になっています交通専門員の渡辺貞一さんや学校支援ボランティアの武田正さんをはじめ、交通安全協会や交通安全母の会、田村警察署、航空自衛隊大滝根分屯地の皆様にも応援いただきました。特に 9 月 25 日（火）には本田仁一市長様、翌 26 日（水）

には遠藤孝田村警察署長様や井上吉隆大滝根分屯基地司令様をはじめ、多くの署員、隊員のみなさんに交通指導を行っていただきました。子どもたちは、少し驚いた様子でしたが、うれしい表情を見せながら感謝の気持ちを込めた元気なあいさつをして学校に向かいました。



「交通事故に気をつけて通学し、いっしょうけんめいに勉強します」、 ありがとうございました！

～交通安全標語コンクール表彰式～

9月27日（木）、遠藤孝田村警察署長様をはじめ、福島民報社の米谷支局長様、福島民友新聞社の富山支局長様にお越しいただき、田村ライオンズクラブ様が主催する「交通安全標語コンクール表彰式」が本校体育館で行われました。

交通安全運動期間中の表彰式でもあり、受賞の喜びとともに、さらに交通事故に気をつけようという子どもたちへの意識付けにもなりました。また、ご家庭でも標語づくりを通して、親子で交通安全について改めて考えてみるよい機会にもなったのではないのでしょうか。

表彰式では、交通事故には絶対に遭わないようにしよう、そのためにどうすればよいかなどを全員で確認することができました。

このような貴重な機会をいただきました長谷川元行会長様をはじめ、田村ライオンズクラブの皆様にご心から感謝を申し上げます。

- | | | |
|------------|----|-------|
| 【最優秀賞】 | 2年 | 小川陽菜向 |
| | 6年 | 湯佐 彩夏 |
| 【福島民報社賞】 | 5年 | 佐藤 柚葉 |
| 【福島民友新聞社賞】 | 4年 | 久保田浩貴 |

福島民報 2018



表彰を受けた大越小の児童ら

小川陽菜向さん 最優秀
湯佐 彩夏さん
田村LC交通安全標語審査

田村ライオンズクラブ（LC）の第十四回交通安全標語コンクール表彰式は、福島民報社賞には佐藤柚葉さん（五年）の「気をつけて自分だけの道じゃないが選ばれた。」表彰式では長谷川元行田村LC会長が「交通事故に注意して登校し、勉学に励んでほしい」とあいさつし、遠藤孝田村署長とともに

入賞者に表彰状や記念品を手渡した。受賞者代表の湯佐さんが「交通安全について考える機会を与えてもらった。下級生の手本になるよう取り組みたい」とあいさつした。根内喜代重校長が謝辞を述べた。

コンクールは秋の全国交通安全運動の一環で、大越小の全校生から百六十七点が寄せられた。入賞作品は十一月九日から十二月五日まで市内船引町のJR船引駅コミュニティプラザ自由通路に展示する。

その他の入賞者は次の通り。

▽優秀賞Ⅱ佐藤くるみ（一年）鈴木咲弥（二年）横田美来（三年）久保田奈々（四年）坪井杏樹（五年）三部葉月（六年）▽福島民友新聞社賞Ⅱ久保田浩貴

9. 30付け
福島民報、福島民友新聞へ掲載

PTA奉仕作業、廃品回収、ありがとうございました！

～9月8日（土）、早朝から多くの皆様のお力をお借りして、環境整備や廃品の回収を行うことができました。保護者や地域の皆様にご心から感謝申し上げます。

子どもたちとも、「たくさんの方々にお世話になってきれいな学校が保たれ、充実した教育活動を行うことができること」、「感謝の気持ちをもって一生懸命に学んでいくことが大切であること」を再確認したいと思います。きれいになった環境の中で一層充実した教育を行ってまいりますので、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、廃品回収の収益金は、133,292円でした。特設部活動など、子どもたちの教育活動の充実に有効に活用してまいります。

